

カリキュラムマップ

経営法学部のカリキュラム・ポリシーに基づく授業科目の到達目標

コモンベーシックス

外国語				ディプロマ・ポリシーの到達程度					
				態度・志向		知識・理解	技能・伝達		総合・統合
				①	②		①	②	
科目名	単位	学年	学期		○	○		◎	
◎【技能・伝達②】言語そのものの技術的習得を目指すことができる。									
○【態度・志向②】外国語の理解とコミュニケーションを通して自分との価値・行動様式の違いを受け止め、意思疎通を図る心構えを身につけている。									
○【知識・理解】語学を学ぶことの意義と展望について、異文化理解と国際コミュニティにおける立ち居振る舞いのシミュレーションを通して、理解を深めることができる。									
英語Ⅰ	②	1	前			◎		○	
英語Ⅱ	②	1	後			◎		○	
中国語	1	1	後		◎			○	
英語Ⅲ	2	2	前		○			◎	
韓国語	1	2	前		◎			○	
英語Ⅳ	2	2	後		○			◎	
ロシア語	1	2	後		◎			○	
英語上級Ⅰ	2	3	前		○			◎	
英語上級Ⅱ	2	3	後		○			◎	

情報処理				ディプロマ・ポリシーの到達程度					
				態度・志向		知識・理解	技能・伝達		総合・統合
				①	②		①	②	
科目名	単位	学年	学期				◎	○	
◎【技能・伝達①】情報処理の基礎を理解し、MS-Word・Excelを用いて情報の加工・分析ができる。									
○【技能・伝達②】情報処理の基礎を理解し、インターネット技術、MS-Word・PowerPointを用いてプレゼンテーションやホームページ作成ができる。									
情報処理Ⅰ	②	1	前				◎	○	
情報処理Ⅱ	②	1	後				◎		
統計学	2	1	後				◎		
情報処理Ⅲ	2	2	前				◎		
情報処理Ⅳ	2	2	後				◎		
情報処理上級Ⅰ	2	3	前				◎	○	
情報処理上級Ⅱ	2	3	後				◎		

キャリアプランニング				ディプロマ・ポリシーの到達程度					
				態度・志向		知識・理解	技能・伝達		総合・統合
				①	②		①	②	
科目名	単位	学年	学期	◎	○			○	○
◎【態度・志向①】個人として自分を知ると同時に相手を尊重することで、より良い人間関係をつくり、個人または仲間と知らないことに挑戦する基本的態度が身に付いている。									
○【態度・志向②】自分や仲間とは異なる多くの価値観に触れ、異なる価値観を否定・無視するのではなく、その存在を受け入れ協働する態度が身に付いている。									
○【技能・伝達②】自分の感じたことや考えたことを、態度を含めて相手とやり取りをしながら伝え合うことができる。									
○【総合・統合】知らないことに関心を持ち続け、獲得した知識や経験を生かし課題に果敢に挑戦することができる。									
キャリアプランニングⅠ	①	1	前	◎				○	○
キャリアプランニングⅡ	1	1	後	◎				○	○
キャリアプランニングⅢ	1	2	前	◎				○	○
キャリアプランニングⅣ	1	2	後	◎				○	○
インターシッパⅠ	2	2	後						
キャリアプランニングⅤ	1	3	前		◎			○	○
キャリアプランニングⅥ	①	3	後		◎			○	○
インターシッパⅡ	2	3	後						

探究の基礎				ディプロマ・ポリシーの到達程度					
				態度・志向		知識・理解	技能・伝達		総合・統合
				①	②		①	②	
科目名	単位	学年	学期	○	◎			○	○
◎【技能・伝達②】自分とは異なる価値観に触れ、相異を相違として受け入れ協働する態度の手掛かりを得ることができる。									
○【態度・志向①】卒業後の自分を見据え、現代社会に生きる個人として必要とされる人間性や自律性を学び、課題探究プロセスに触れることを通して、自己の発見および自己創造に向け自ら育む手掛かりを得ることができる。									
○【技能・伝達①】情報収集、調査、レポート作成等の具体的方法を身に付け、大学で学びの基礎を習得する。									
○【技能・伝達②】学習を通して、他者とのコミュニケーションを通して、自らの考えと他者の考えと異同を学び取ることができる。									
探究の基礎	②	1	通年	○	◎			○	○

日 本 語 (留 学 生)			ディプロマ・ポリシーの到達程度					
			態度・志向		知識・理解	技能・伝達		総合・統合
			①	②		①	②	
科目名	単位	学期		○		○	◎	
<p>◎【技能・伝達②】文法など習得した「知識」を実際に使用することで「運用」できる。また、聞いて・読んで理解できるだけにとどまらず、そこから考えたことを他者に伝え、他者とのやりとりを通じ、自らの思考を深めることができる。</p> <p>○【態度・志向②】日本語を共通語とする異文化間コミュニケーションの参加者として自己や他者を意識し、話し手・聞き手・読み手・書き手としてふさわしい態度でコミュニケーションを取り、日本及び他国の社会の諸相に関して視野を広げることができる。</p> <p>○【技能・伝達①】テーマに沿って情報を収集・分析し、構造やルール、表現など日本語で論理的に述べるための基礎技術を学び、日本語でレポート作成や口頭発表を行うことができる。</p>								
日本語Ⅰ	④	前・後		○			◎	
日本語Ⅱ	②	前・後		○			◎	
日本語Ⅲ	②	前・後		○			◎	
日本語Ⅳ	2	前・後		○			◎	
学術日本語	②	前・後		○		◎	○	
ビジネス日本語	1	前・後		◎			○	
<p>注) 日本語科目は、必修科目については1単位45時間、選択科目については1単位30時間の授業時間とする。また、各科目の履修は、前提科目の合格あるいはプレイスメントテストを受け当該科目を履修できる能力を有すると認められることが条件となる。「日本語Ⅰ」の履修は、プレイスメントテストにおいて日本語能力試験N5合格レベルに到達していることを前提とする。</p>								

教養科目

人 間 の 探 究				ディプロマ・ポリシーの到達程度					
				態度・志向		知識・理解	技能・伝達		総合・統合
				①	②		①	②	
科目名	単位	学期	◎	○	◎			○	
◎【態度・志向①】人間生活のさまざまな諸相の理解を通して、現代に生きる個人に必要とされる判断・行動に対する基本的態度を身につける。									
◎【知識・理解】人文科学分野が提示する人間や文化の多様なあり方について理解し、専門分野における学習事項の理解を、人間の本質への洞察という点から検討して深めることができる。									
○【態度・志向②】知識や思想を学問的方法論に基づいて検討する態度を身につけ、人間や文化の多様なあり方への理解を用いて、対象・問題を多角的に考え、論じることができる。									
○【統合・総合】各科目で獲得した知識を統合した有機的な全体像の中に事象を位置づけて捉えるとともに、自ら問題を発見し、解決することができる。									
対人コミュニケーションⅠ	1	1	前	○				◎	
人間と哲学	2	1	前	◎	○	○			○
人間と心理	2	1	前	○	○	◎			
対人コミュニケーションⅡ	1	1	後		○			◎	
人間と歴史	2	1	後	◎	○	○			○
人間と健康	2	1	後			◎			○
人間と宗教	2	2	前	○	○	◎			
人間と芸術	2	2	前	○	◎				
人間と倫理	2	2	後	◎	○		○		
人間と文学	2	2	後	◎		○			○
人間と教育	2	2	後	◎		○			○

社 会 の 探 究				ディプロマ・ポリシーの到達程度					
				態度・志向		知識・理解	技能・伝達		総合・統合
				①	②		①	②	
科目名	単位	学期		◎	○		○		
◎【態度・志向②】人間が暮らす社会は、様々な文化や多元な社会的価値を併せ持つ有機的な生活の場であり、絶えず変化している実態を理解できる。									
○【知識・理解】身近な多様な社会現象に関する知識を学習し、人格形成の一端を担う深い教養を獲得することができる。									
○【技能・伝達②】様々な社会現象に関して主体的な認識・意見を得ることができ、それについて他者と意見を交わすことができる。									
暮らしと地域	2	1	前		◎	○		○	
暮らしと法律	2	1	前		◎	○	○		
暮らしと経済	2	1	後		◎	○		○	
縄文と現代	2	1	後		○	◎		○	
グローバル社会と文化	2	2	前		○	◎			○
現代社会の諸相	2	2	前		◎	○		○	
社会と福祉	2	2	後	○		◎			

自然の探究			ディプロマ・ポリシーの到達程度						
			態度・志向		知識・理解	技能・伝達		総合・統合	
			①	②		①	②		
科目名	単位	学期		○	◎	○			
◎【知識・理解】生活に密接な自然科学の基礎知識を得ることで、現代社会に大きな影響を及ぼす科学技術について拒絶せずに関心を持ち続け、より良く理解できる。									
○【態度・志向②】社会科学、人文科学に加えて自然科学を学ぶことで多様なものの見方を身に付け、お互いの理解をより深めることができる。									
○【技能・伝達①】自然科学の視点を加えて情報収集、そして評価分析という一連の活動を行うことで幅と深みのある論議を進めることができる。									
自然の生態系	2	1	前		○	◎	○		
自然と生物	2	1	前		○	◎	○		
生命の科学	2	1	後		○	◎	○		
自然と科学	2	1	後		○	○	◎		
防災と危機管理	2	2	前			○	◎		
自然とエネルギー	2	2	後		○	◎	○		

専門科目

基礎科目				ディプロマ・ポリシーの到達程度					
				態度・志向		知識・理解	技能・伝達		総合・統合
科目名	単位	学期	①	②	①		②		
経営法律総合				○			◎	○	◎
<p>◎【技能・伝達①】自らの問題意識に基づき社会現象、協働現象を分析して問題を発見し、課題を見出すことができる。</p> <p>◎【総合・統合】獲得した知識と知見を活用し、自ら見出した課題の具体的な解決に向けた方途を示すことができる。</p> <p>○【態度・志向①】より良い人間関係や社会の構築に向けて、何が問題であるのかを見出すための基本的態度を身につけている。</p> <p>○【技能・伝達②】自らが見出した課題、解決策について、プレゼンテーションを通して他者に明確に提示できる。</p>									
経営法律総合論	②	1	後		○		○		◎
				態度・志向		知識・理解	技能・伝達		総合・統合
科目名	単位	学期	①	②	①		②		
経営領域				○		◎	○		
<p>◎【知識・理解】現代社会における様々な様相をしている人間協働の構造と過程の基本的理解ができ、とくに会社を中心とする組織の諸問題の解明を通して、個人と社会を結びつけている経営の重要性と意義を理解できる。</p> <p>○【態度・志向①】個人と社会をつなぐ組織と経営の関わりを学ぶことと通して、多元的社会の現代に生きる市民として個人の在り方に対する基本的理解ができる。</p> <p>○【技能・伝達①】経営の主要領域における基本的諸問題を分析し、その問題の性質を明らかにすることができる。</p>									
経営学入門	②	1	前	○		◎	○		
会計学入門	②	1	後		○	○	◎		○
				態度・志向		知識・理解	技能・伝達		総合・統合
科目名	単位	学期	①	②	①		②		
法律領域				○		◎	○		
<p>◎【知識・理解】法学の基礎知識を修得するとともに、その基本的体系を把握することができる。</p> <p>○【態度・志向①】法的知識に基づいた問題解決のための論理的・科学的思考ができる。</p> <p>○【技能・伝達①】法に関する広範な他分野の知識の必要性を理解し、相互の関係を知ることができる。</p>									
法学入門	②	1	前	○		◎	○		
民法総則	②	1	後	○		◎			
				態度・志向		知識・理解	技能・伝達		総合・統合
科目名	単位	学期	①	②	①		②		
関連領域						◎	○	○	
<p>◎【知識・理解】マクロ経済学の基礎的な概念を理解し、経済現象の動きや仕組みを相互依存関係として説明できる。</p> <p>○【技能・伝達①】マクロ経済学の考え方に基づいて、現実の経済問題を考察できる。</p> <p>○【技能・伝達②】現実の経済現象について、他者と簡単な会話をすることができる。</p>									
マクロ経済学	②	1	前			◎	○	○	

基幹科目				ディプロマ・ポリシーの到達程度					
				態度・志向		知識・理解	技能・伝達		総合・統合
科目名	単位	学期	①	②			①	②	
経営領域					○	○	◎		○
◎【技能・伝達①】経営の主要領域（会計を含む）における諸問題を分析し、その基本的性質を明らかにし、評価することができる。									
○【知識・理解】会社を中心とする人間協働における経営の主要領域（会計を含む）の基礎知識を学び、その領域で行う意思決定における諸前提に対する基本的理解ができる。									
○【態度・志向②】会社を中心とする人間協働の人間関係の様々な諸相を学び、協働過程における人間関係の在り方に対する基本的理解ができる。									
○【総合・統合】経営の主要領域（会計を含む）で学んだ基本的知識と技術を用いて、具体的な諸問題の解決に向けた方途を考えることができる。									
簿記論	2	1	前			○	◎		
企業論	2	1	後		○	○	◎		○
経営組織論	2	2	前		◎	○			○
マーケティング論	2	2	前			○	◎		○
経営戦略論	2	2	前		○	◎	○		
原価計算論	2	2	前			○	◎		○
財務会計論	2	2	後			○	◎		○
応用経営戦略論	2	2	後		○	○	◎		○
経営管理論	2	2	後		○	○	◎		
工業簿記	2	2	後		○	○	◎		
				態度・志向		知識・理解	技能・伝達		総合・統合
科目名	単位	学期	①	②	①		②		
法律領域				○		○	◎		
◎【技能・伝達①】国家・社会及び企業に関する法的な基本枠組みを理解し、具体的な問題の解決（規範の適用）にあたり、その社会的背景を考慮するとともに法的思考力を養成することができる。									
○【態度・志向①】機軸となる法領域の法現象の理解を通じて、合理的な法的判断力（リーガルマインド）を養成することができる。									
○【知識・理解】国家・社会及び企業に関する法的な基本枠組みを理解することを通じて、人間社会の基本的枠組みを把握することができる。									
憲法Ⅰ	2	1	後		○	○		◎	
債権各論	2	2	前	○		○	◎		
会社法Ⅰ	2	2	前	○		○	◎		
憲法Ⅱ	2	2	前		○	○		◎	
法学課題研究Ⅰ	2	2	前	○			◎	○	
債権総論	2	2	後	○		○	◎		
会社法Ⅱ	2	2	後	○		○	◎		
物権法	2	2	後	○		○	◎		
法学課題研究Ⅱ	2	2	後	○			◎	○	

			態度・志向		知識・理解	技能・伝達		総合・統合
科目名	単位	学期	①	②		①	②	
関連領域			○		◎		○	
◎【知識・理解】経済学や政治学の基本概念を理解し、経済・政治の主要分野における相互関連性を踏まえて、現実の経済現象や政治的動向などについて説明できる。								
○【態度・志向①】経済学や政治学の知識を活用して、現実の諸問題について考える習慣を持ち、自らの意見を述べることができる。								
○【技能・伝達②】現実の経済現象を他者に分かりやすく説明できるとともに、他者の認識や意見などを理解し、相互に意見交換できる。								
ミクロ経済学	2	1	後		◎	○	○	
政治学	2	2	前		◎		○	
地域経済論	2	2	前		◎	○		○
社会調査法	2	2	前	○	○		◎	
金融論	2	2	後	○	◎		○	
ビジネスエコノミクス	2	2	後	○	◎		○	
財政学	2	2	後		○		○	◎
国際経済学	2	2	後	○	◎		○	

展開科目			ディプロマ・ポリシーの到達程度					
			態度・志向		知識・理解	技能・伝達		総合・統合
科目名	単位	学期	①	②		①	②	
経営領域			○		○	◎		◎
◎【技能・伝達①】経営に関する応用領域ないし個別領域（会計を含む）における諸問題を分析し、その基本的性質を明らかにし、評価することができる。								
◎【総合・統合】経営に関する応用領域ないし個別領域（会計を含む）で学んだ基礎知識と技能を用いて、その領域の具体的諸問題の解決に向けた方途と解決の在り方を考えることができる。								
○【態度・志向①】現代社会を構造化し具体的に動かしている人間協働の理解を通して、より良い人間関係や社会を築くための経営の基本的態度を身につけている。								
○【知識・理解】経営に関する応用領域ないし個別領域（会計を含む）の基礎知識と技能を学び、その領域で行う意思決定における諸前提に対する基本的理解ができる。								
経営財務論	2	3	前		○	◎		○
社会事業論	2	3	前	○		◎		○
新事業構築論	2	3	前	○		○		○
経営情報論	2	3	前		○	○		◎
地域経営論	2	3	前	○		○		◎
管理会計論	2	3	前		○	○		◎
経営学課題研究Ⅰ	2	3	前		○	○		◎
経営人事論	2	3	後		○	○		◎
経営倫理論	2	3	後	○		○		◎
公益事業論	2	3	後	○		◎		○
中小企業経営論	2	3	後		○	◎		○
国際経営論	2	3	後		○	◎		○
経営分析論	2	3	後	○		○		◎
経営学課題研究Ⅱ	2	3	後		○	○		◎

				態度・志向		知識・理解	技能・伝達		総合・統合
科目名	単位	学期	①	②	①		②		
法律領域					○	○	◎		○
◎【技能・伝達①】各法領域における専門的知識と情報を収集して、具体的な問題の解決に向けた技能を習得し、その解決モデルを提示できる。									
○【態度・志向②】専門的な知識を活用して、具体的な法律問題について妥当な解決を図ることができるようになり、いわゆるリーガルマインドが身につけられる。									
○【知識・理解】企業の諸活動に関係する法の専門的知識を把握し、各分野における現代的課題を発見することができる。									
○【総合・統合】国内及び国際的な企業活動に関する法的専門分野の研究を通じて、国際的・地球的視野を背景とする、より総合的な問題把握と処理の方法を知ることができる。									
行政法Ⅰ	2	3	前		○	○	◎		
担保物権法	2	3	前		○	○	◎		
支払決済法	2	3	前		○	○	◎		
労働法	2	3	前		○	○	◎		
国際私法	2	3	前			○	◎		○
民事手続法	2	3	前				◎	○	○
消費者法	2	3	前		◎			○	○
親族相続法	2	3	前		○			◎	○
法学課題研究Ⅲ	2	3	前	○				○	◎
行政法Ⅱ	2	3	後			○	◎		○
社会保障法	2	3	後			○	◎		○
法と経済	2	3	後		○		○		◎
知的財産法	2	3	後			○	◎		○
国際関係法	2	3	後			○	◎	○	
刑事法	2	3	後		○	○	◎		
経済法	2	3	後			○	◎		○
法学課題研究Ⅳ	2	3	後	○				○	◎
				態度・志向		知識・理解	技能・伝達		総合・統合
科目名	単位	学期	①	②	①		②		
関連領域						○		○	◎
◎【総合・統合】経済学や政治学、行政学などの諸理論を理解し、現実の現象や社会活動に深い関心を持ち、具体的な活動に積極的に取り組むことができる。									
○【知識・理解】経済学や政治学、行政学などの各分野の専門的知識を身につけ、現実社会の諸相について理解することができる。									
○【技能・伝達②】専門知識の習得を踏まえて、他者と現実の諸問題について議論することができる。									
地域政策論	2	3	前	○		○	○		◎
国際関係論	2	3	前		○	◎			
経済政策	2	3	前	○		◎		○	
行政学	2	3	前			○			◎
経済学課題研究Ⅰ	2	3	前	○				○	◎
現代政治論	2	3	後			○			◎
地域観光論	2	3	後		○	○			◎
アジア経済論	2	3	後			○		○	◎
経済学課題研究Ⅱ	2	3	後	○				○	◎

地 域 探 究				ディプロマ・ポリシーの到達程度					
				態度・志向		知識・理解	技能・伝達		総合・統合
				①	②		①	②	
科目名	単位	学期	○			◎	○	◎	
◎【技能・伝達①】自らの問題意識に基づき社会現象、協働現象を分析して問題を発見し、課題を見出すことができる。									
◎【総合・統合】獲得した知識と知見を活用し、自ら見出した課題の具体的な解決に向けた方途を示すことができる。									
○【態度・志向①】より良い人間関係や社会の構築に向けて、何が問題であるのかを見出すための基本的態度を身につけている。									
○【技能・伝達②】自らが見出した課題、解決策について、プレゼンテーションを通して他者に明確に提示できる。									
地域探究アクト	2	2	通年	○			◎	○	
短期海外アクトⅠ	2	2	通年	○				○	◎
地域密着アクト	2	3	通年	○				○	◎
短期海外アクトⅡ	2	3	通年	○				○	◎

専 門 演 習				ディプロマ・ポリシーの到達程度					
				態度・志向		知識・理解	技能・伝達		総合・統合
				①	②		①	②	
科目名	単位	学期		○	○	◎	◎	◎	
◎【技能・伝達①】具体的な問題解決のために、専門的知識を活用して問題を分析し、評価することができる。									
◎【技能・伝達②】社会や企業に関する情報収集に基づく問題解決モデル・方向性を示し、説得する能力を身につける。									
◎【総合・統合】各分野の専門的知識を活用し、さらに関係領域の知識や社会的諸価値を背景に具体的な問題解決のための提案をすることができる。									
○【態度・志向②】経営と法律を中心とする専門分野のみならず、幅広い知識と教養を身に付け、かつ当該の専門分野の発展へ自ら寄与しようとする意欲を持つことができる。									
○【知識・理解】広範な基礎知識の修得から各分野での高度な専門的知識の把握まで行うことができる。									
専門演習Ⅰ	②	2	通年		◎	○	○		
専門演習Ⅱ	②	3	通年		○	○	◎		○
専門演習Ⅲ (卒業論文)	④	4	通年			○		◎	◎